

# 平成26年度学校自己評価システムシート ( 県立浦和第一女子高等学校・定時制 )

|        |   |
|--------|---|
| 目指す学校像 | 一人一人が大切にされ、落ち着いて学べる教育を推進し、社会ではばたく力を育てる。 |
|--------|---|

|      |   |
|------|---|
| 重点目標 | 1 一人一人の学力に応じた丁寧な指導を通して基礎学力の充実を図る。<br>2 地域社会・保護者等と連携した教育活動を推進する。<br>3 生徒の実態に即したきめ細かな指導を通して将来への展望を拓かせる。 |
|------|---|

|     |   |             |
|-----|---|-------------|
| 達成度 | A | ほぼ達成(8割以上)  |
|     | B | 概ね達成(6割以上)  |
|     | C | 変化の兆し(4割以上) |
|     | D | 不十分(4割未満)   |

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

|     |          |     |
|-----|----------|-----|
| 出席者 | 学校関係者    | 6名  |
|     | 生徒       | 6名  |
|     | 事務局(教職員) | 10名 |

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

| 学 校 自 己 評 価 |   |  |   |   | 学 校 関 係 者 評 価  |     |  |
|-------------|---|--|---|---|--|-----|--|
| 年 度 目 標     |   |  |   |   | 年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )  |     |  |
| 番号          | 現状と課題   | 評価項目   | 具体的方策   | 方策の評価指標   | 評価項目の達成状況  | 達成度 | 次年度への課題と改善策  |
| 1           | アンケート結果から生徒・保護者は授業について肯定的な評価であるが、基礎学力の定着度に差が見られる。また、学習意欲の二極化も見られる。<br>課題として教員側の授業改善と生徒の学習に対する前向きな取組を引き出す工夫を行い基礎学力の充実を図る。  | ・教員が授業改善に取り組む生徒の学力を向上させる。<br>・生徒が授業に集中できる授業環境を確立する。<br>・授業以外での学習時間を確保する。             | ①生徒への授業アンケートを参考に授業改善に努める。<br>②教員間で授業規律の確保について研修会等で共通認識を図り、生徒の授業中の集中力を養う。<br>③教員、学習サポート員の補習により基礎学力の定着を図る。                                  | ①各教員が、昨年度の授業アンケートを参考に授業改善に取り組む。<br>②授業に集中できる環境が保たれたか、教員、生徒にアンケートを行う。<br>③学習サポート員が行う補習に多くの生徒を参加させる。  | ①生徒への授業アンケートを教員が分析し授業改善に取り組み基礎学力の向上につなげることができた。<br>②授業規律確保の取り決めについて研修を通じて職員で共通認識を図り生徒にも軸のぶれない指導が出来た。<br>③学習サポーターによる始業前補習の年間計画を作成し、計画的に実施し参加生徒のニーズに応えた指導を実践できた。   | A   | ・アンケートの質問項目をより具体的な回答が記入できるように工夫する。また、管理職による授業観察を積極的に実施する。<br>・概ね授業規律が確保されているが、教員による差が若干出ているので解消していく。<br>・始業前補習に参加する生徒を増加させ学習意欲の向上を図る。              |
| 2           | ホームページ、中学校訪問等で本校の教育活動について情報発信をしているが、保護者、地域社会、中学校に教育活動の内容が浸透していない現状がある。<br>課題として学校公開日や学校行事での保護者参加や外部来校者数の増加を図る。  | ・ホームページの閲覧者を増加させる。<br>・中学校訪問において、本校の教育活動の内容について理解度を向上させる。<br>・学校公開日や学校行事での来校者を増加させる。 | ①タイムリーな情報発信や行事での写真を今まで以上にホームページにアップして本校の関心度を高める。<br>②中学校訪問で本校の特徴を説明し教育活動への理解に努める。<br>③保護者へ通知を出すとともに、ホームページやメールなどでアナウンス回数を増加させる。           | ①ホームページの閲覧者が増加したか。<br>②中学校訪問後の本校教員が記入する報告書において、中学校側の満足度が実感できたか。<br>③学校公開日、学校行事などで来校者の満足度を高めるとともに来校者数を増加させる。   | ①学校の取り組みを素早くホームページなどで情報発信し閲覧者にアピールできた。<br>②今年度から中学校訪問時に掲示用のポスター(保健室やさわやか相談室用)を作成し持参した。<br>③学校行事などに保護者通知で案内をだし来校する機会を確保した。また保護者アンケートでは9割以上が肯定的な意見であった。  | B   | ・様々な情報が担当者にすばやく届くように全教員で情報発信を意識する。<br>・受検生や中学校などに本校の特長を更にアピールしていく。<br>・昨年の反省を踏まえ案内が保護者の手元に届かないことがないようにメールも活用した。今後も更に多くの保護者等に来校していただけるように努力する。      |
| 3           | 担任が日頃から生徒の動向に注意を払い、必要に応じて面談や家庭と連絡をとっているが、様々な要因から生徒理解が充分とは言えない。また、生徒もコミュニケーション力に欠けるところがある。<br>課題として生徒が希望する進路に進むことができないことや学校の教育活動全体でマナーや規範意識を醸成させるように指導しているが社会性が備わっていないことである。 | ・職員による生徒理解を向上させる。<br>・生徒が社会に出てから自立できるような進路体制を整える。<br>・生徒の社会性を養い社会にはばたく力を育成する。        | ①担任、教科担当、家庭からの情報を共有して職員間で生徒理解を深める。<br>②進路指導部を中心に進路調査を基に生徒のニーズに応えた企業開拓を行う。<br>③生徒指導部を中心にマナーや規範意識の醸成、コミュニケーション力の向上などを教育活動全体で図り、将来への展望を拓かせる。 | ①進級・卒業する生徒を増加させ、退学する生徒を減少させる。<br>②生徒に行う進路アンケートから進路に対する意識の向上と進路実現ができたか確認する。<br>③生徒のアンケートからマナーやルールを守るなどの意識が向上したか確認する。また、教員アンケートからも生徒に指導した結果が現れているか確認する。 | ①担任を中心に教科担当を含め生徒理解を深め、それらを共有し生徒の進級・卒業に役立たせることができた。<br>②「社会ではばたく力を育成させるために」というテーマで職員研修会を開催し、4年間を見通した進路指導計画を策定した。その中の一つである教員による企業訪問を実施した。このように新たな進路指導の結果、今年度の進路状況は、希望する進路へ進むことができた生徒は、9割を超えている。<br>③様々な場面で教員が指導する回数が増え、生徒の学校での態度が良くなった。挨拶も以前よりできるようになってきている。 | A   | ・来年度は共有した情報を整理し、生徒一人一人の指導方針を立案し共有できるようにする。<br>・今年度構築した新たな進路指導計画がスムーズに実施できるように準備を進める。<br>・生徒の社会性を養うため職員研修会等で具体的な指導、指導のタイミング、指導内容の充実を図るとともに共通認識を深める。 |

|                   |   |
|-------------------|---|
| 実施日               | 平成27年2月14日  |
| 学校関係者からの意見・要望・評価等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な生徒に対して基礎学力を定着させる手段を講じている。特に学習サポートは、生徒からの感想からもわかるが、とてもためになっているようである。しかし、参加人数の減少が課題ということなので、来年度は参加人数を増やす手立てを考え、基礎学力の定着を目指して欲しい。</li> <li>・アンケート結果から「入学して良かった」という生徒・保護者がほとんどだったので充実した教育活動がなされていることが伺える。次は、将来のことをどう考えるかという「生き方」の指導を充実させて欲しい。</li> <li>・自治会として不審者の対応をどうしたよいか考える。また、自治会の行事に生徒を参加させてみてはどうか。</li> <li>・文化祭等で定時制と全日制の交流などを考えてはどうか。</li> <li>・学校は、生徒の将来を考えて4年間を見通した進路計画を策定し実践している。これにより生徒の進路に対する意識の向上や進路活動に向けた早めの準備ができるので、生徒が希望する就職先・進学先へ進められる。これからも生徒が社会に出て自立できるように手厚い指導をお願いしたい。</li> </ul> |